

大鹿 勝雅

おおしかかつまさ (ショーン)

父の仕事の都合により幼少期は韓国ソウルにて育ち、小学一年に日本に帰国。日本語と韓国語を混ぜて話していたので友達から外国人扱いを受け韓国語を話さなくなる。東京で4年過ごし Boston へ渡米。Boston で2年間、Chicago で1年弱過ごし、東京へ帰国。東京から香川に移り住み中学生活が始まる。体育、英語、図画工作以外は成績が悪く、悩む。2年が経ち、自分の学力の足りなさや日本に居ての将来性の無さを見据え、姉と二人で渡米を決意。

親の知り合いにお世話になり姉とは、隣町同士で New York へ移住。日本では全く付いていけなかった数学にもアメリカでは一学年飛び、一つ上の学年と取ることになる。ほかの学科の成績も常に上位に立ち New York 州立大学 Binghamton 校に受かる。勉強に飽き、高校卒業後、一年間、Volunteer Group に所属し Volunteer 活動に取り組む。Volunteer 活動の際、立ち寄った California に心を奪われ、New York には戻るまいと決意。Volunteer が終え、学費を稼ぎ、Rent を稼ぎ、賄を食べる為、日本食レストランや寿司屋でバイト。Rent が滞り、追い出される危機も多々。お金を稼ぐということは大変なことだと実感。バイトに励みながら Pasadena City College に二年半通う中 San Diego に住む友達を訪れる。San Diego を気に入る UCSD に編入する。一年半、経済学を専攻し卒業。

Commercial Real Estate Brokerage で1年勤め、その後、Citibank へ転職。Citibank では8年弱パーソナルバンカーとして勤める。Bank of Southern California からの引き抜きでのデルマー支店長を任される。